



外来魚の駆除を実施しました！

本町で昭和56年に初めて生息が確認された外来種「ブラウントラウト」はヨーロッパから西アジア原産のサケ科魚類で、主に三滝ダム上流付近に生息し、イワナ・ヤマメ等の在来種の生息を脅かしています。

千代川漁業協同組合智頭支部は、生物環境保全を目的とし毎年10月～11月に電気ショッカーによる駆除を実施しています。

今年の駆除には智頭農林高等学校の生徒8人が参加され、ブラウントラウトの駆除を体験して、本町の生物環境を学びました。

期間中に5回の駆除を行い、194匹のブラウントラウトを駆除し、45cmを超える大きな個体の捕獲も行いました。

ブラウントラウト以外の魚はアマゴが中心ですが、上流ではイワナの姿も見え始め、30cmを超えるイワナも確認できるなど駆除の効果が現れています。



町長と農林生の捕獲成果です



駆除の様子



色づいた庭園を楽しむ人々

石谷家住宅 秋の庭園公開

11月12日～14日 / 19日～21日

石谷家住宅で秋の庭園公開が行われました。公開期間中は、庭師の井手口啓二さんから庭園の歴史や見所について話を伺いながら庭園の散策を楽しむことができました。

鳥取市から訪れたという夫婦は、「昼間のニュースで紹介されているのを見て、すぐに来ました。こんなに綺麗な紅葉と庭園はなかなか見れませんね」と大満足の様子でした。